



株式会社 日本駐車場サービス

JPSニュースレター

Vol. 19

弊社の最新情報はコチラをご覧ください→<http://lucky-parking.com>

2017. 2. 1

自走式立体駐車場の落下防止策について

自走式の立体駐車場から運転ミスにより落下する事故が相次いでいます。

建築基準法により、落下防止柵の設置が義務付けられて以降に建築された駐車場でも落下事故が起こっている様です。

昨今の高齢者ドライバーによる交通事故と同根の問題であり、防止柵の耐荷重を少々強化したくらいでは根本解決にはならないのかもしれませんが。(昨年 12 月の横須賀の事故は運転者がどなたであったか未公表の様です。)

現行の設計基準では 2 トンの車両が時速 20 kmで衝突しても大丈夫な仕様になっていますが、30 km、40 kmに耐えるようにしても事故は起こるかもしれません。

では 100 kmに耐えるように設計するのか？といえばそれはそれで経済合理性の観点からは難しい様に思います。

解決策は自動車の側にありそうです。

高齢ドライバーの事故を防ぐために有効であろう機構や装置がすでに市販され始めています。

ドライバーが不自然なアクセル操作を行うと、ブレーキが作動する仕組みです。

どんどん普及していったほしいです。法の整備も必要かもしれません。

60 歳以上のドライバーは上記の装置取付を義務化するなどです。

とにかく、高齢ドライバーの運転ミスを減らす取り組みは、高齢化まっしぐらのわが国では喫緊の課題だと言えそうです。

【過去の駐車場での落下事故の事例】

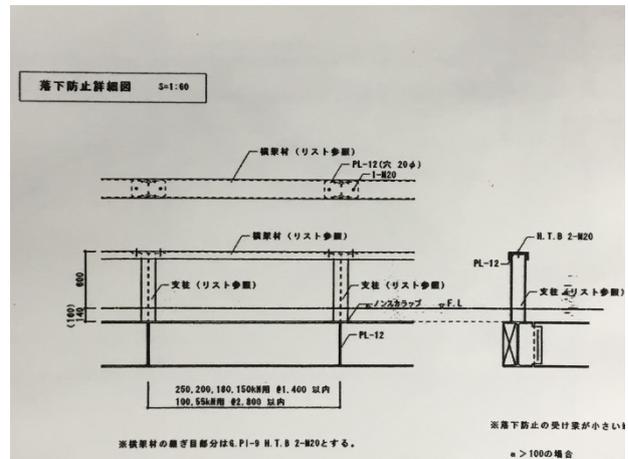
- ・平成 28 年 12 月に、横須賀市の「サカイヤパーキング」にて、立体駐車場の5階から乗用車が転落し乗っていた方が死亡する事故がありました。
- ・平成 28 年 9 月に、広島市安佐南区西原の商業施設「ゆめタウン祇園」にて、立体駐車場の 9 階からワンボックス車が転落しました。
- ・平成 26 年には、東京・府中市にある卸売市場の立体駐車場で乗用車が 3 階の屋上部分から地上に転落し、運転していた 67 歳の女性が死亡しました。後ろ向きに駐車しようとしたところ、フェンスを突き破って転落したとみられています。
- ・平成 22 年には大阪・八尾市で乗用車がデパートの立体駐車場の 4 階から転落し、乗っていた男性2人が死亡しました。乗用車は駐車場の車止めを乗り越え、さらに高さ 1.3 メートルの鉄製の柵を突き破って転落しました。
- ・平成 18 年には山口県下関市の商業施設の立体駐車場であせん状の通路から乗用車が転落し、乗っていた 60 代から 70 代の男女 4 人全員が死亡しました。高さ 2 メートルのフェンスを突き破って転落しました。
- ・平成 14 年に、名古屋市の幼稚園で、園舎の屋上に設けられた駐車場から園庭に自動車転落し、園庭にいた園児が死亡する事故が発生しました。

落下防止柵（約 25 トンの衝撃に耐えます）

過去の事故例等からこれまでに二度、国土交通省（旧建設省）から落下防止柵設置についてのガイドラインが出されています。仕様は既述の通りですが、完全に事故を防ぐことは出来ません。



落下防止柵(多様な形状があります)



ディテールの一例

自動ブレーキ作動装置

既述の通り、センサー技術の進化、コストダウン等により様々な衝突防止に役立つ技術や装置が生まれてきています。

また、以下の様な後付け出来る装置も色々出てきていますので、手軽に安全性を向上させることが出来ます。開発各社、行政のさらなる PR に期待したいところです。



危険を予知し警告を発する装置



アクセルの不自然な踏み込みを検知するタイプ

低環境負荷のモビリティサービスをご提供することで社会に貢献いたします。

株式会社 日本駐車場サービス

<http://lucky-parking.com>

本社
大阪

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2 丁目 1 番 14 号
TEL 06-6233-5552 FAX 06-6233-5553

名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦 3 丁目 1 番 30 号
TEL 052-209-9513 FAX 052-209-9514

仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町 1 丁目 2 番 1 号
TEL 022-217-6961 FAX 022-217-6962